



今回はいよいよ最終回。トーンを貼って、完成したら PSD や JPEG 形式の汎用フォーマットへ書き出します。

トーンを貼っていくと、どんどんトーンレイヤーができていきます。トーンレイヤーを統合してしまいたくなりますが、トーンレイヤーはよっぽどの理由がない限り、**そのまま残しておく**ことをオススメします。トーンレイヤーを統合してしまうと、モアレの原因になるからです。

トーンを貼り終えたら、用途にあわせて汎用フォーマットへ書き出します。

## 汎用フォーマットへ書き出す

ComicStudio で作った作品はそのままだと、ComicStudio でしか開くことができません。他のグラフィックソフトで加工したり Web サイトにアップしたりする時は、汎用フォーマットへ書き出す必要があります。

ただ、書き出したデータは、テキストやトーンがラスタライズ（画像化）されてしまうので、書き出し後のデータはテキストの打ち直しや設定の変更ができなかったり、拡大縮小や解像度の変更をするとトーンがモアレをおこしたりするので注意が必要です。

ComicStudio で書き出しできる汎用フォーマットは以下の通りです。(※1)

### 【Debut】

JPEG ・ BMP ・ PSD

### 【Pro ・ EX】

JPEG ・ BMP ・ PSD ・ PNG ・ TGA ・ TIFF ・ EPS (モノクロ) ・ PDF

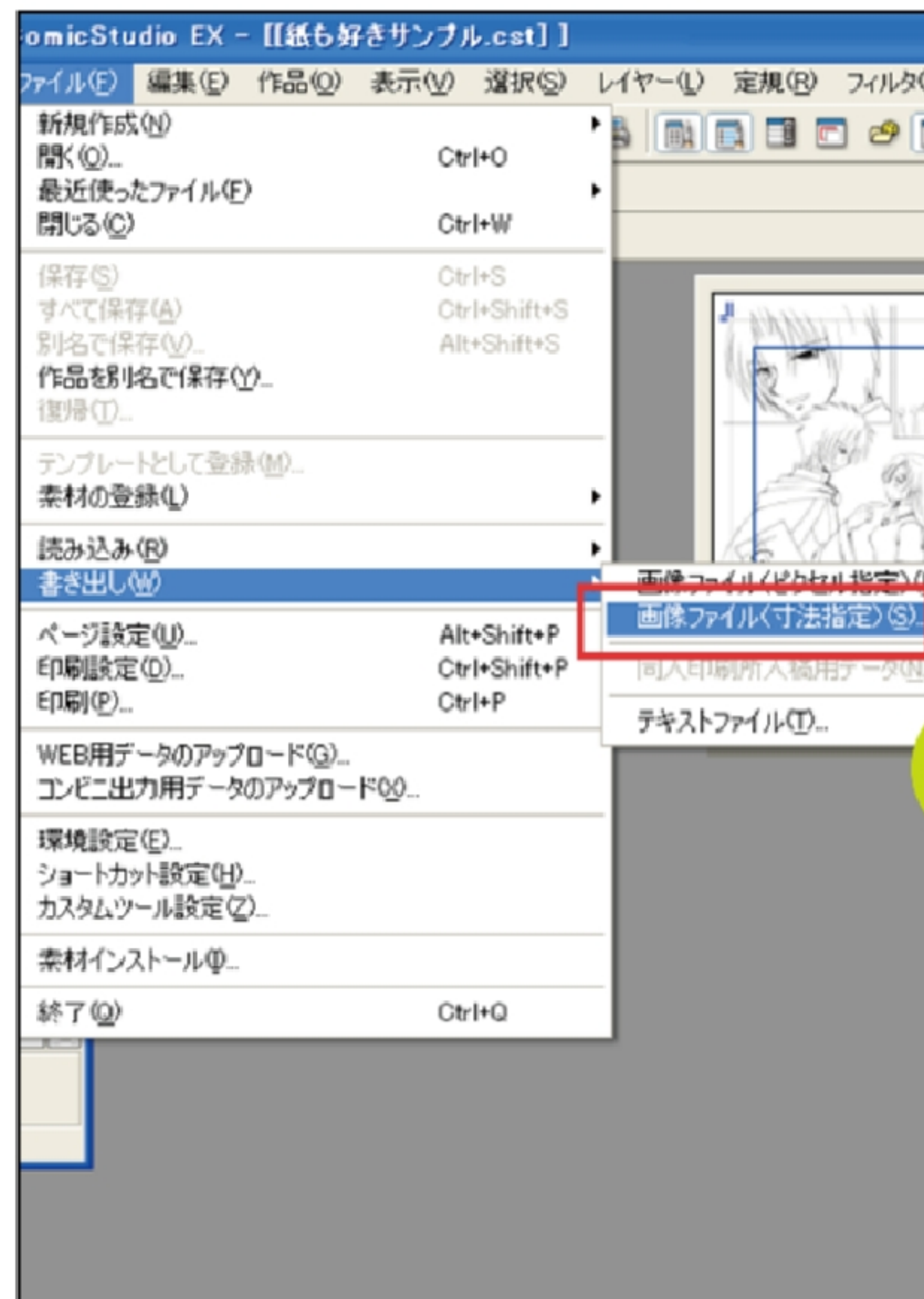
※1 「ComicStudio 4.0 for Windows」 の場合

それでは、実際に汎用フォーマットに書き出ししてみましょう。

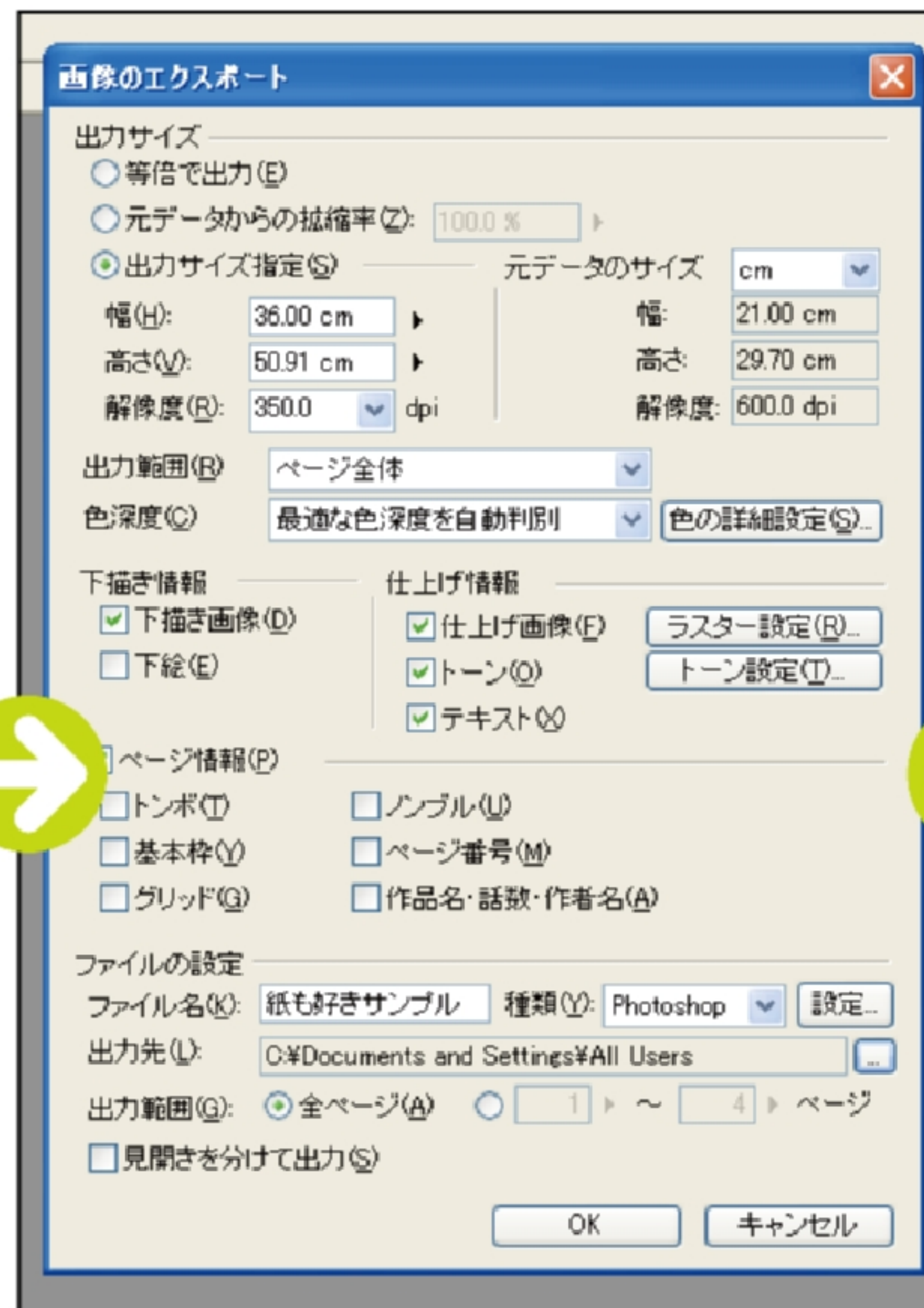


## 【汎用フォーマットへの書き出し】

1. 「ファイルメニュー」の「書き出し」から、「画像ファイル（ピクセル指定）」か、「画像ファイル（寸法指定）」を選ぶ。
2. 書き出し時のサイズや解像度、ファイル形式、保存先などを設定して、「OK」を押す。
3. 画像が書き出される。



「書き出し」から  
「画像ファイル」を選んで……



書き出しの設定をして  
OK をクリック



画像が書き出されました

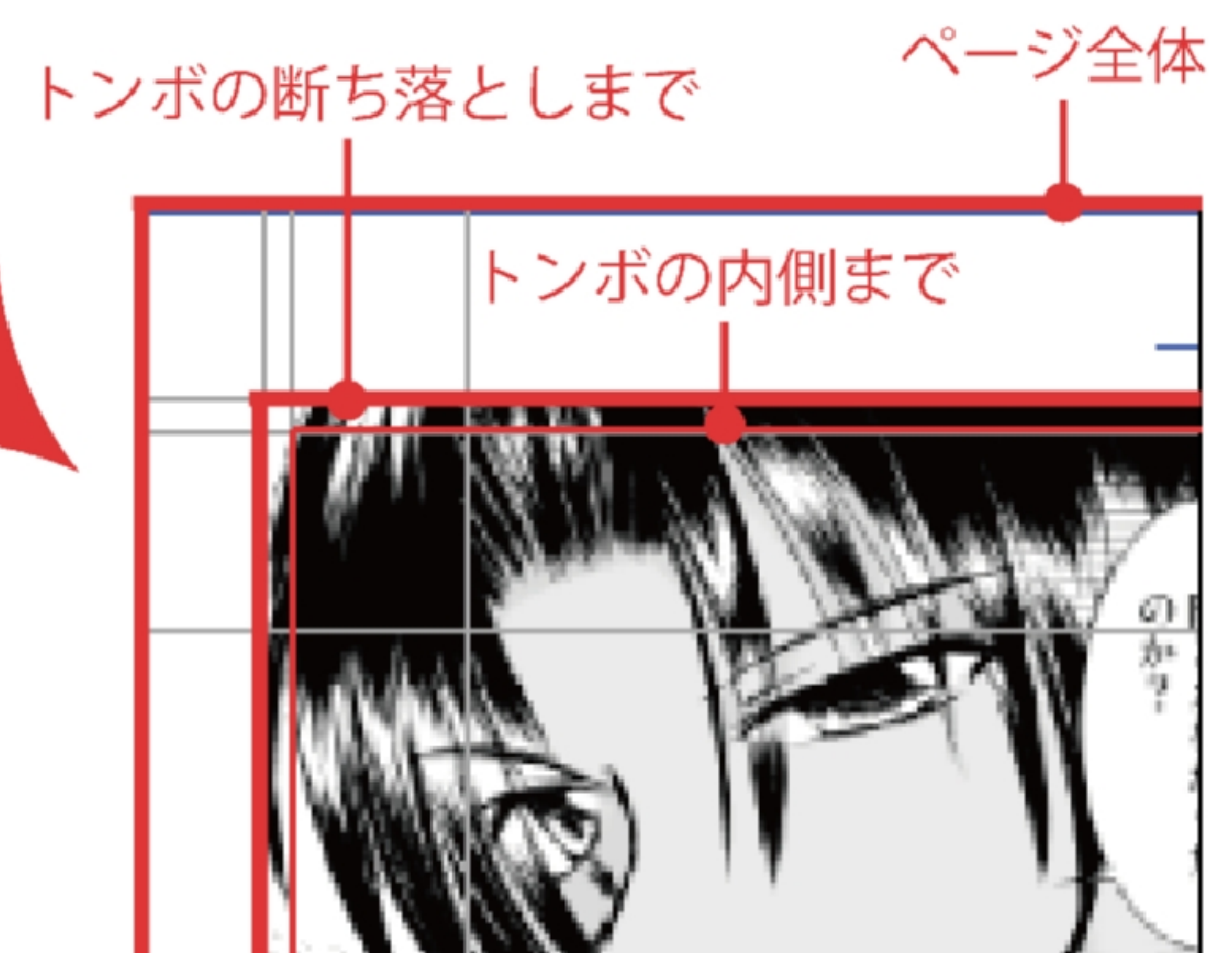
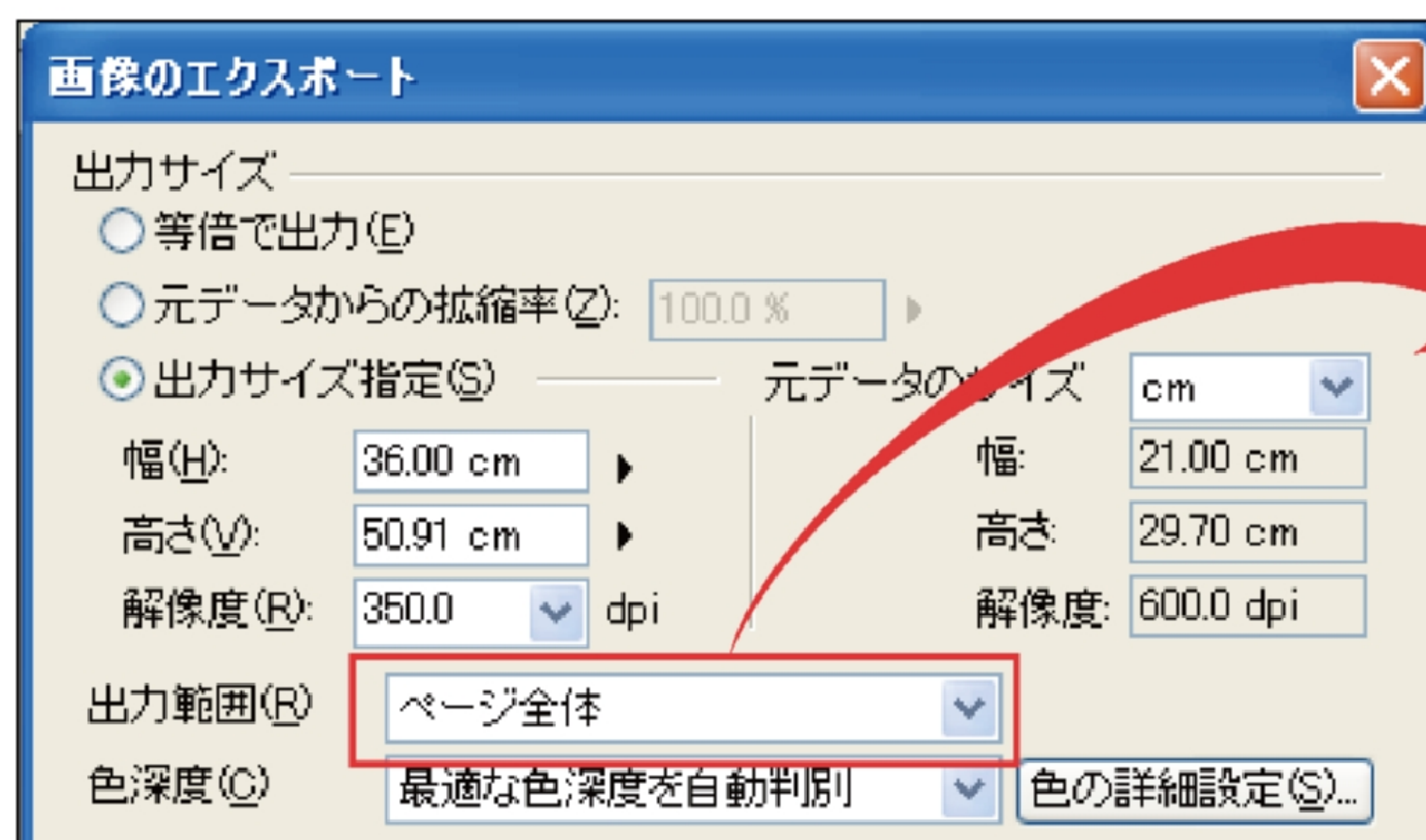
書き出しには、「画像ファイル（ピクセル指定）」と「画像ファイル（寸法指定）」の二種類がありますが、単位が「cm」か「pixel」かの違いで、機能的な差はありません。Web サイトやブログに使う場合は「ピクセル指定」、印刷用だったら「寸法指定」で……使いたい用途ごとに書き出すといいと思います。

## 書き出しの設定いろいろ！

ComicStudio では、書き出し時に色々な設定をすることができます。

### Point 1 出力サイズ

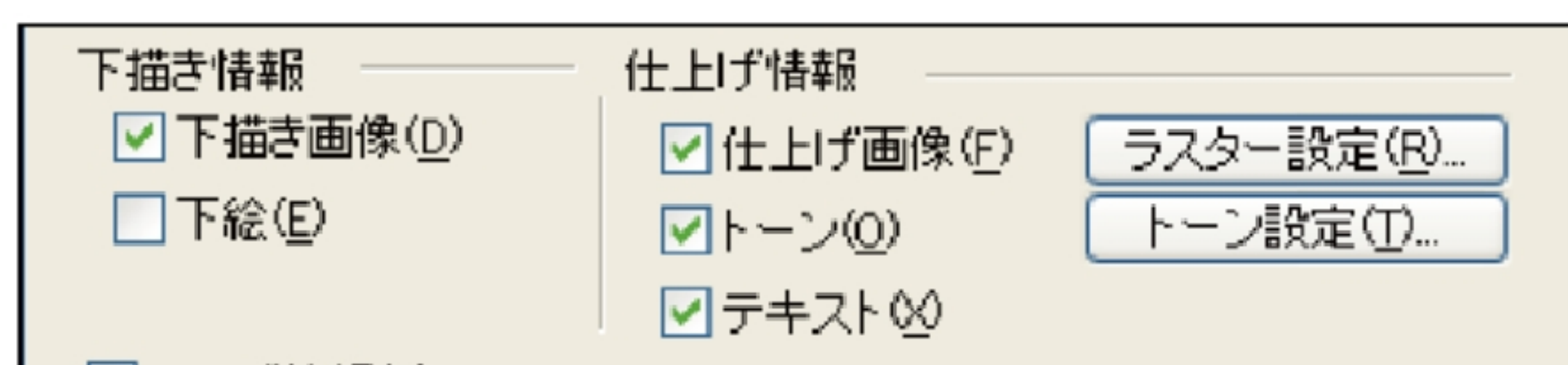
書き出し時のサイズや、どこまで書き出すか、ここで設定します。





## Point 2 下描き情報／仕上げ情報

どのレイヤーを書き出すかの設定です。チェックのついたレイヤーを書き出します。



全部描き出した場合  
(仕上げ+トーン+テキスト)



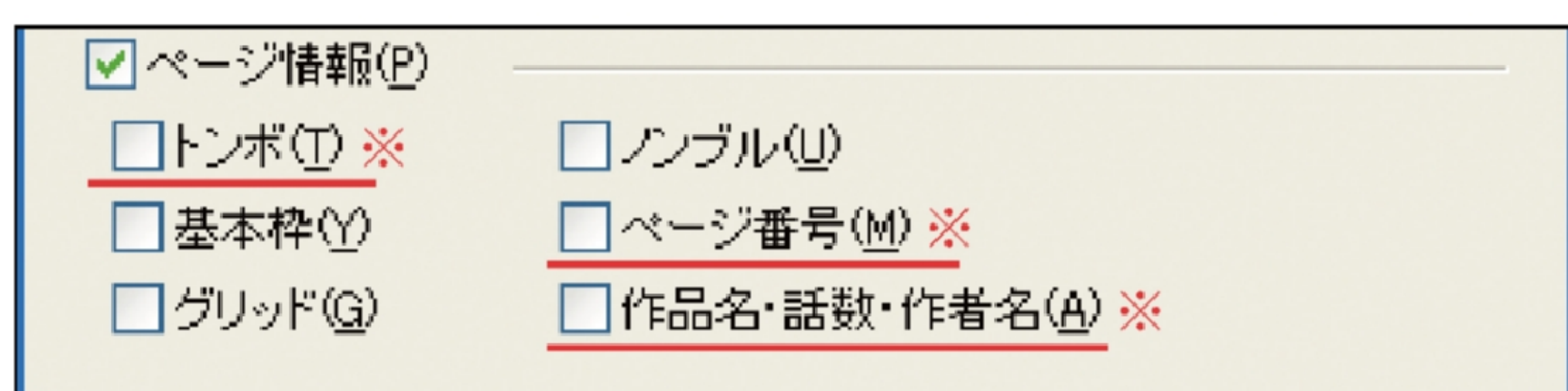
仕上げのみ書き出し



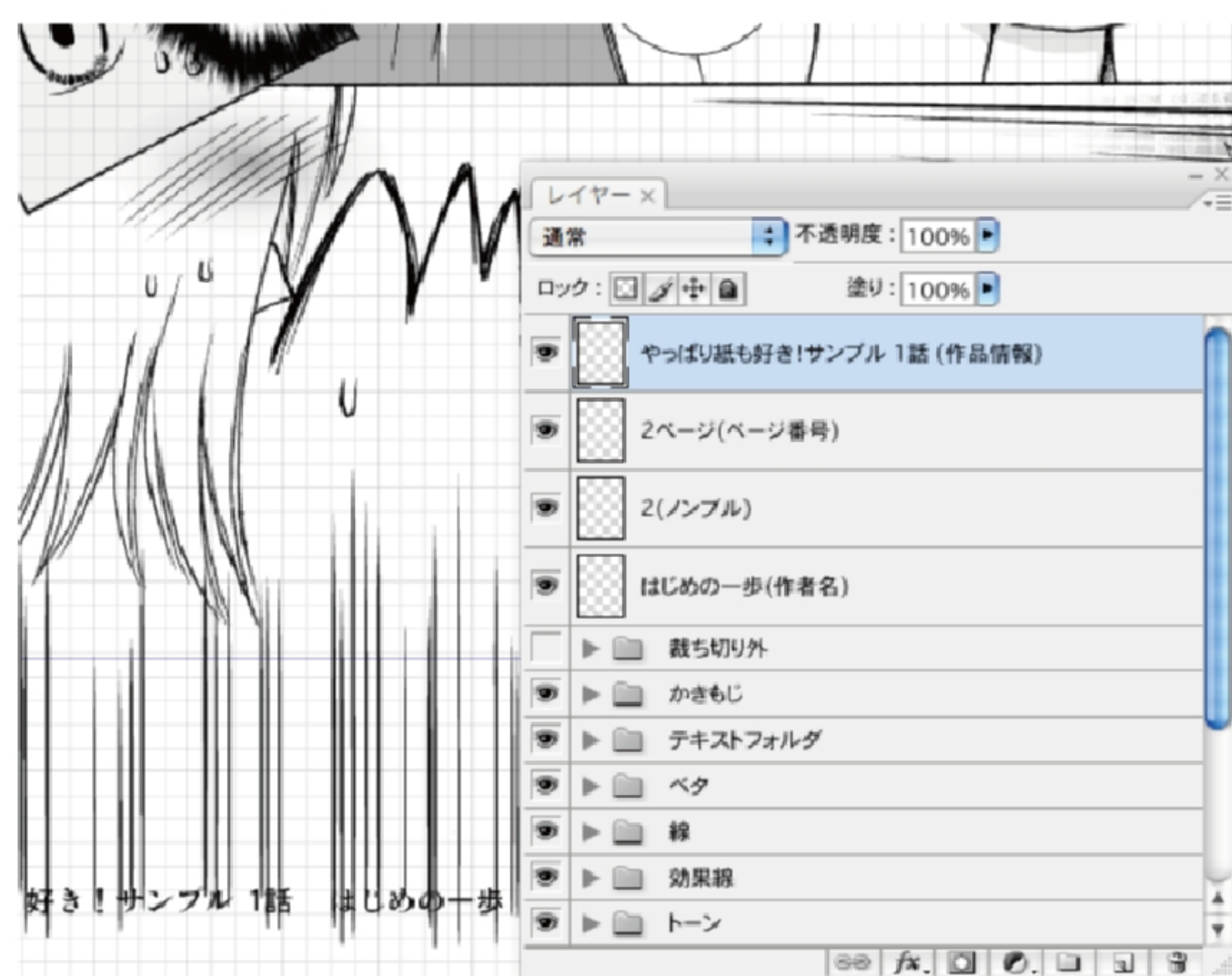
仕上げ+テキストを書き出し

## Point 3 ページ情報

ノンブルやトンボなどを書き出すかどうか決めます。チェックがついた項目が書き出されます。



※『トンボ』、『ページ番号』、『作品名・話数・作者名』は『ページ全体』で書き出さないと、  
きちんと表示されません。

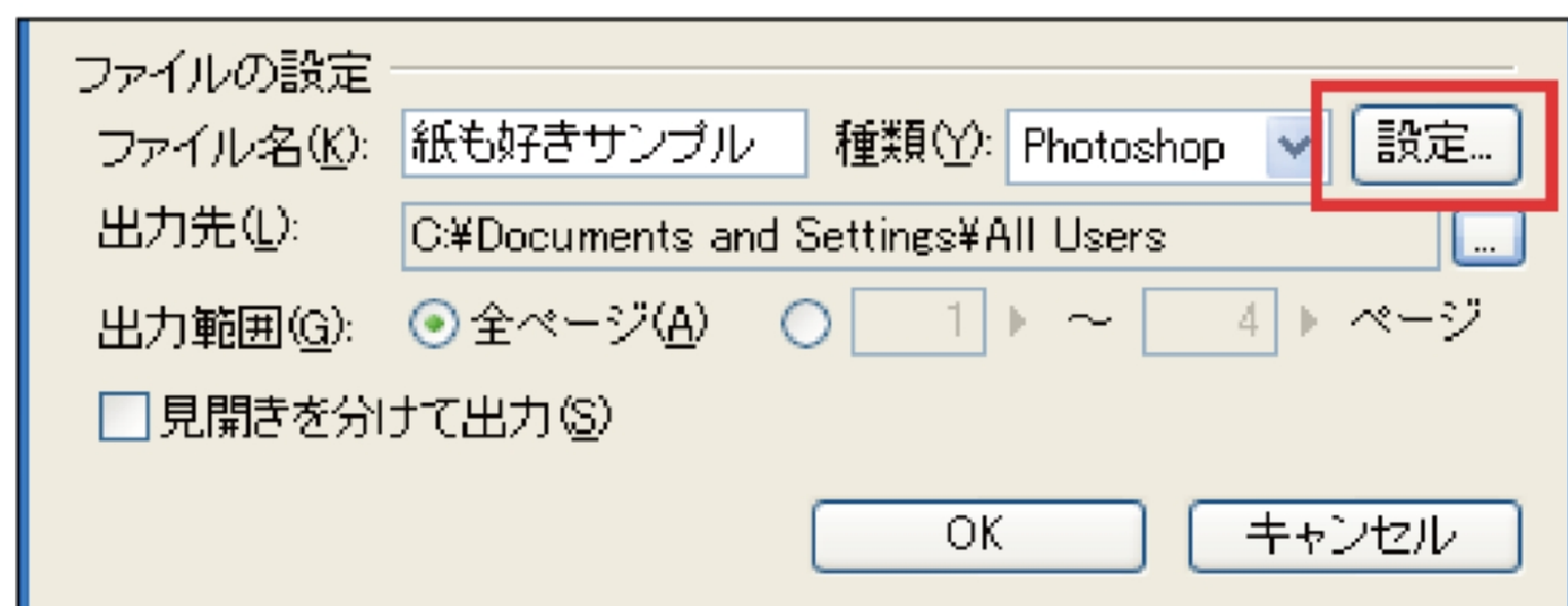


PSD 形式で、レイヤー情報を維持したまま書き出しを選んだ時は、作品情報は別レイヤーで書き出しされます。



#### Point 4 ファイル設定

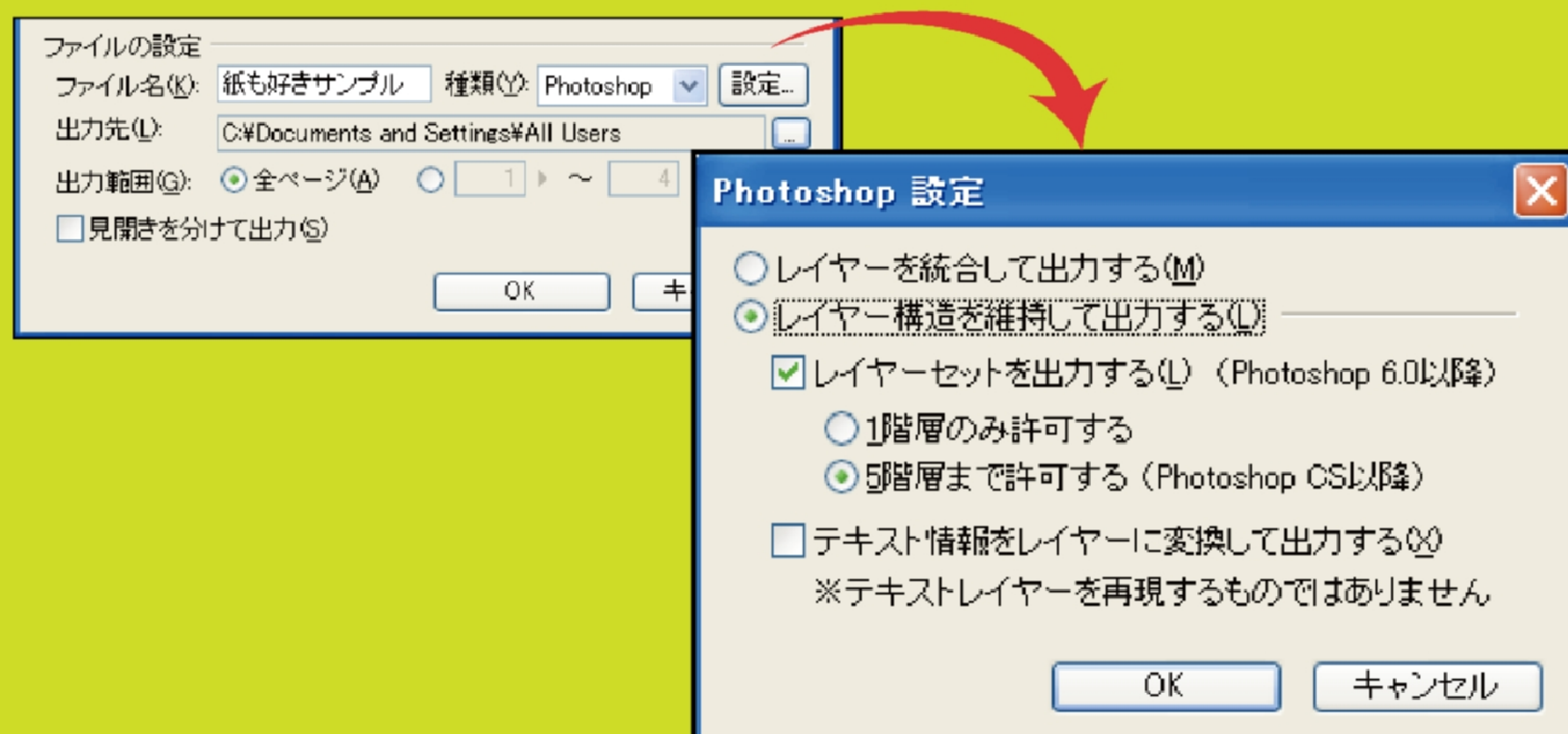
ファイル名や、書き出し形式、出力先を指定します。ファイルの形式によっては、「設定」で画像の品質等の設定ができます。



PSD、JPEG、TIFF、PDF で、設定ができます。

#### Memo PSD 形式で書き出す時は……

PSD 形式を選んで、「詳細」をクリックすると、書き出し時に、レイヤー構造を維持するか？レイヤーセットを有効にするか？を設定できます。他のグラフィックソフトで加工＆編集する場合は、ここのチェックをオンにしておきましょう。



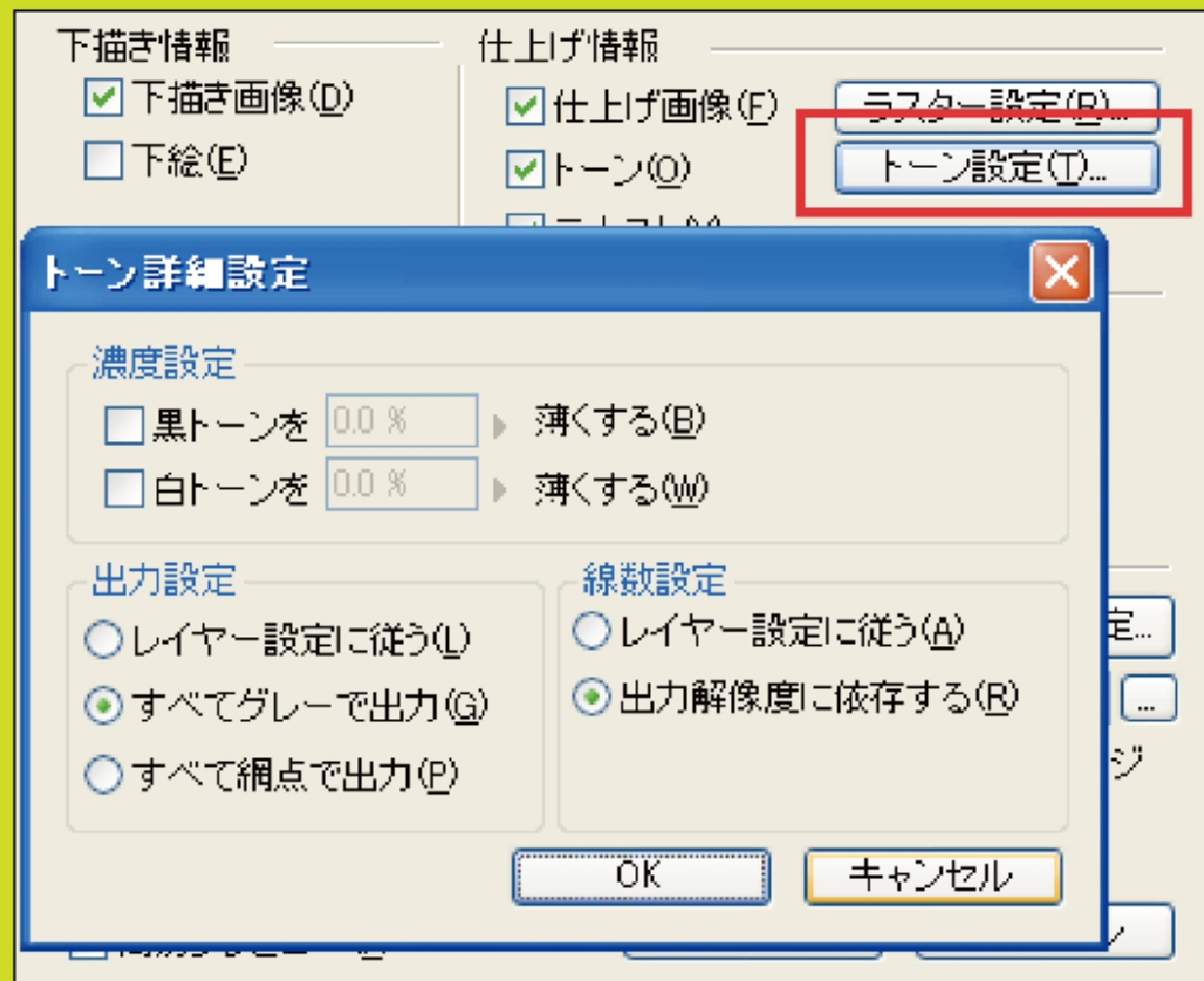
#### Memo PDF で書き出してみよう！

今回から追加された、PDF 形式での書き出し。PDF 形式で書き出しすると、作品を「複数ページの PDF ファイル」で書き出すことができます。ネームチェックの時や、PDF 入稿したい時に便利です。



## Memo Web 用は「トーンをグレーで書き出し」

Web に載せる時は、トーンを網点ではなく、グレーで書き出しするとキレイです。トーンが網点だと、サイズや解像度を変更した時に、網点がモアレしてしまうことがありますが、グレーで書き出せばモアレの心配がありません。



トーン設定で「すべてグレーで出力」を選ぶと、トーンをグレーで書き出すことができます。

コツさえ掴んでしまえば、書き出しは簡単です。これを覚えると、入稿用だろうが、Web 用だろうが、最適な状態で書き出すことができます。

さて、この連載も今回で一区切りです。ComicStudio は画材の一つ。紙が好きなら紙からはじめればいいし、デジタルでペン入れが便利！ならデジタルでペン入れすればいい。あんまり肩ひじ張らず、気軽に ComicStudio を楽しんでみてください。